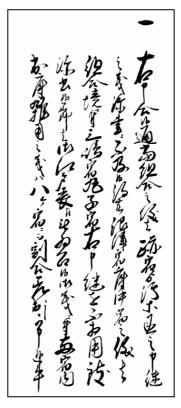
文脈で区別する字

中国人民民民人民人民人民人民

(i)は、最初の が「御」、次の は、その次が「戸」なので、「江戸」です。次の「表」は余り崩れていませんから、わかると思います。

次のがから少し難しくなります。この字は、右に寄せて小さく書いてありますから、平仮名や片仮名だという想像はできます。この字は「江」という字で「へ」と読みます。今でも、演歌歌手などのサインに「 さん江」等と使うことがあります。この場合は、はっきり「江」ですが、崩しがひどくなると、「江」と「か」が同じ字のようになります。どちらに読むかは、文脈次第というところもあります。



次のとは、第19回以来久しぶりに出てきた字です。次ののがが「為」とわかれば、比較的簡単に「被」と想像ができます。「被為」で「なされ」

と読みます。すると、次の が問題になりますが、第 10 回にも出てきた「召」という字です。今回の方がきれいですが、それでも慣れないと読みにくい字です。次の **り**は「候」です。

次の・ は「御」、次の は、第 32 回の(d)でも と出てきた「義」です。この部分は、右上の全体像の 2 行目の始めの方にありますから、(字は小さいですが)確認してください。最後の 2 文字は「二付」でしょう。したがって、(i)をまとめると「御江戸表江被為召候(江戸義太へ名し為され候)御義二待」となります。

(j)は、最初の きだけが難しい字です。この字は「両」という字です。この字とほぼ同じくずし字に「雨」という字があります。「両」と「雨」は文脈で区

別するしかありません。また、 という崩しを含んでいる字に という字 があります。 これは「満」という字で、割とよく出てきます。また、並べて書くと「満」と区別がはっきりできますが、文章の中で出てくると紛らわしいの

五名艺

が 15 という字で、これは「傅 (伝)」という字です(第 30 回でも少し解説しました)。 最後 の二文字は、「宿内」で、これは簡単でしょう。 (j)は「両宿内」となります。